

東濃の秋を彩る歴史絵巻



多治見まつり

日時：11月3日（金）午後2時頃から

場所：多治見市役所から多治見駅

多治見国長や土岐頼貞ら、この地ゆかりの武将に扮した武者行列が、晩秋の東濃路に戦国絵巻を繰り広げる。駅前おまつり広場では太鼓やダンスパフォーマンスなど、多彩な協賛イベントを開催する。開催は、毎年11月3日。

お問合せ先：多治見市観光協会 ☎23-5444



文楽の日

日時：10月15日（日）午後1時頃から

場所：瑞浪市日吉町「半原文楽館」

江戸中期の宝永年間に、淡路の人形使いがこの地に伝えたといわれ、正式名称は「半原操り人形浄瑠璃」、岐阜県の重要民俗文化財に指定されている。

一般に公開されるのは、春4月の奉納神事と10月の第3日曜日の「文楽の日」のみで、めったに見ることはできない。今年の演目は「壺坂靈験記 山の段」ほか、子ども文楽の披露も予定されている。なお、終演は午後4時の予定。

お問合せ先：瑞浪市文化課 ☎68-7710



流鏝馬

日時：10月8日（日）午後1時頃から

場所：土岐市妻木町「八幡神社」

八幡神社の流鏝馬は、地元の少年騎手6人が陣笠・羽織袴の武者姿で馬を駆り、参道を駆け上がる勇壮なお祭りです。

元和9年（1623年）に妻木家頼がお旅所を造営し、馬1頭を寄進したことに始まると伝えられています。

昭和31年5月9日には土岐市無形民俗文化財に指定されました。

毎年10月の第2日曜日に行われます。

お問合せ先：八幡神社 ☎57-6441